

ウイリーの妻

- 1 ウイリーは 海の向こうに出かけて行って
妻を娶めとって帰りました
- 2 金髪がきれいで娶めとったのですが
ウイリーの母親は嫁をたいそう悲しませます
- 3 嫁はたいそう悲しみ 苦しみました
お腹なかが軽くなりません
- 4 部屋にすわって苦しむばかり
ウイリーも むなしく悲しむばかり
- 5 ウイリーは母のところに行きました
母はこの世でもっとも悪い魔女
- 6 「金と銀をちりばめた
酒盃さかずきを妻は持っています
- 7 「そのすてきな酒盃さかずきをお母さんにあげましょう
だから 子供を産ませて軽くして」
- 8 「子供を産んで軽くはなれない
部屋で明るく笑うこともないだろう
- 9 「嫁は死んで土となれ
おまえは別の女を娶めとれ」
- 10 「別の女は娶めとりませんよ
別の女を決して家には入れません」
- 11 疲れたウイリーは ため息ついて言いました
「いつそ死んでしまいたい」
- 12 「もう一度 お義母かあさんのところに行つて
お義母かあさんはこの世でもっとも悪い魔女
- 13 「妻には馬があります と言つてください
リードの地方くわにで比ぶものない馬があります

14 「前足は金のひづめ
後足も金のひづめ

15 「たてがみ ひと房ひと房に
金の駒こまと鈴が鳴る

16 「そのすてきな馬をお義母かあさんにあげましよう
だから 子供を産ませて軽くして」

17 「子供を産んで軽くはなれない
部屋で明るく笑うこともないだろう

18 「嫁は死んで土となれ
おまえは別の女を娶めとれ」

19 「別の女は娶めとりませんよ
別の女を決して家には入れません」

20 疲れたウイリーは ため息ついて言いました
「いつそ死んでしまいたい」

21 「もう一度 お義母かあさんのところに行つて
お義母かあさんはこの世でもっとも悪い魔女

22 「妻には帯があります と言つてください
真ん中に金をちりばめた帯があります

23 「銀の縁飾りの一つ一つに
六十個の鈴が付いています

24 「そのすてきな帯をお義母かあさんにあげましよう
だから 子供を産ませて軽くして」

25 「子供を産んで軽くはなれない
部屋で明るく笑うこともないだろう

26 「嫁は死んで土となれ
おまえは別の女を娶めとれ」

27 「別の女は娶めとりませんよ

別の女を決して家には入れません」

28 疲れたウイリーは ため息ついて言いました
「いつそ死んでしまいたい」

29 盲めしのベリーが言いました
ちようどそのとき言いました

30 「市場に行つて
蠅ろうの塊かたまり お買いなさい

31 「蠅人形ろうにんぎょうの赤子をつくつて
ガラスの目玉を二つ ちやんとお入れなさい

32 「お母さんを赤子の洗礼式に呼び
振舞いをよくよく観察してごらん

33 「すこし離れたところに立つて
何と言うのか 聞いてごらん」

34 「ああ あの九つの魔女の結びを解いたのは誰
嫁の髪にひそめていたのに

35 「あの嘆きの櫛を抜きとつたのは誰
嫁の髪にさしていたのに

36 「あのスイカズラの枝を降ろしたのは誰
嫁とわたしの部屋の間に掛けていたのに

37 「あのヒツジハジラミを殺したのは誰
嫁のベッドの下を走らせていたのに

38 「嫁のあの左足の靴ひもをゆるめて
嫁を軽くしたのは誰」

39 ウイリーは 妻の髪にひそめてあつた
九つの魔女の結びを解きました

40 ウイリーは 妻の髪にさしてあつた
嘆きの櫛を抜きとりました

41 ウイリーは 妻と母の部屋の間には掛かっていた
スイカズラの枝を降ろしました

42 ウイリーは 妻のベッドの下を走っていた
ヒツジハジラミを殺しました

43 ウイリーは 妻の左足の靴ひもをゆるめて
妻を軽くしたのでした

44 こうして かわいい男の子が生まれました
その子が幸せでありますように

(山中光義訳)